

Cente Technical Information

発行番号	002-0013	Rev	第1版	発行日	2013/06/14
題名	近隣者要請 (Neighbor Solicitation)実行中にリンクダウンさせると、通信できなくなることがある現象について				
情報分類	障害情報				
適用製品	<ul style="list-style-type: none">・Cente IPv6 Ver.1.00 - Ver.1.43・Cente IPv6 SNMPv2 Ver.1.00 - Ver.2.13・Cente IPv6 SNMPv3 Ver.2.00 - Ver.2.13				
関連資料	なし				
<p>【該当するユーザ環境】 ・IPv6を使用しているユーザ。</p> <p>【障害内容】 ユーザアプリケーションから特定の相手に対してIPv6パケットを送信すると、その送信に先だって近隣者要請によるアドレス解決が発生します。これに対する応答を待っているときにEthernetケーブルを抜くなどI/Fをリンクダウンさせると、内部で持っている送信パケットバッファが解放されず、最終的には送信パケットバッファが枯渇して通信ができない状態となります。正常に通信できている環境ではほとんど発生しませんが、存在しない相手先にIPv6パケットを送信すると発生しやすくなります。</p> <p>【発生理由】 近隣者要請を実行中、その相手先宛の送信IPv6パケットは送信ペンディングキューに保持され、解決した時点で全てキューから取り出して送信します。ここで、近隣者要請を実行中にI/Fをリンクダウンさせた際の処理が不足しており、送信ペンディングキューを解放しない状態となっていました。それ以降も同じ相手先へIPv6パケットを送信すると、そのたびに送信ペンディングキューに積まれるため、最終的には空き送信パケットバッファが枯渇していました。</p> <p>【回避方法】 ・ソースコードを修正し、リンクダウン時に送信ペンディングキューをクリアする。 (変更箇所については、営業担当またはsupport@cente.jpまでお問い合わせください。)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>					